

2024年度第16回全国キャラバン研修会

ジェネラルナースの技術力を高めよう

移動動作技術のきほんと用具の活用

本研修では、「対面による移動動作技術のきほんや用具の活用」を、積極的に活用し、受講される方がエビデンスに基づく移動技術の技を学べる機会を提供することを目的にしています。

今回の研修会で扱う動作は、わたしたちもふだんよく使う動作です。その自然な動きを理解することは、介助する側の動きだけでなく、適切に物品配置をする意味にもつながります。今までに気づいていなかった発見が、きっと見つけれられます。

研修内容：

- ①再考！移動動作技術のきほん！
- ②滑る？滑らない？摩擦のちから！
- ③重心を安定させるとこんなに楽なの！
- ④用具の活用！スライディングシート・ボード・リフト移動
- ⑤演習：用具の活用！スライディングシート・ボード・リフト移動



日時 2025年3月9日（日） 13：00～16：00

場所 京都大学人間健康科学科棟 看護科学演習室Ⅲ
Zoomオンライン参加もあります（URLはお申込み後にご連絡いたします）

講師 技術研究成果検討委員会 移動動作評価班

西田直子（京都先端科学大学）	平田美和（帝京大学）
國澤尚子（埼玉県立大学）	首藤英里香（札幌保健医療大学）
若村智子（京都大学）	富田川智志（日本福祉大学）
水戸優子（神奈川県立保健福祉大学）	小林由実（社会福祉法人みなと舍ゆう）

スケジュール

時刻	内容	方法	担当者	備考
13:00	・開会挨拶、オリエンテーション、録画のアナウンス ・移動動作評価班のメンバー紹介		西田	録画開始
13:05	本日の流れについて		若村國澤	
13:10	① 再考！移動動作技術のきほん！	講義	平田	
13:35	② 滑る？滑らない？摩擦のちから！	講義	首藤	
14:00	③ 用具の活用！スライディングシート、スライディングボード、 移乗用ボードを活用して移乗してみよう	演習	全員	
14:40	休憩			
14:50	④ 用具の活用！リフト・スリングを活用して車椅子に移乗してみよう	演習	富田川他	
15:35	・意見交換・研修会のまとめ		若村國澤	
15:55	・閉会挨拶、アンケートのお願い、記念撮影		西田水戸	
16:00	終了			録画終了

会場参加者5名、オンライン参加者18名、研修講師8名、リフト業者2名、ランティア学生1名 計34名で研修会が開催されました。

授業の様子

講義で用いたスライド

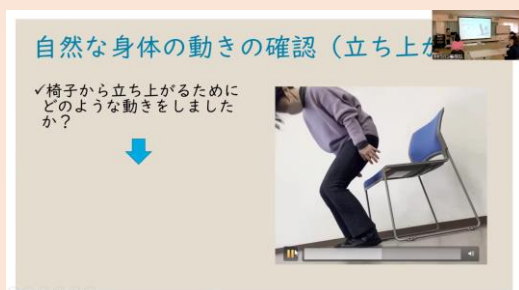
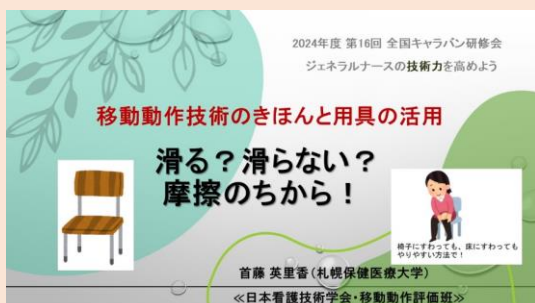
全国キャラバン研修会(第16回) ジェネラルナースの技術力を高めよう

移動動作技術のきほんと用具の活用

2025年3月9日 13:00-16:00

ハイブリット開催
京都大学人間健康科学科棟
ZOOM(12時50分から入室可能)

主催 一般社団法人 日本看護技術学会 技術研究成果検討委員会 移動動作評価班



会場での講義の様子



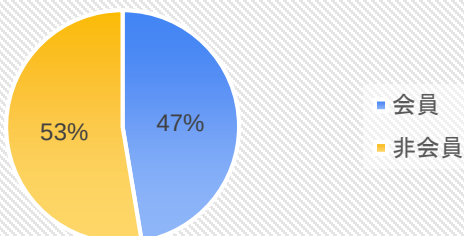
会場での実演の様子



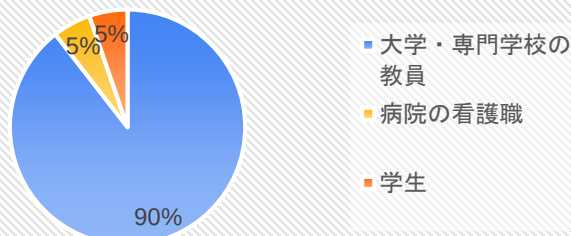
アンケート集計結果

n=19 (86.4%)

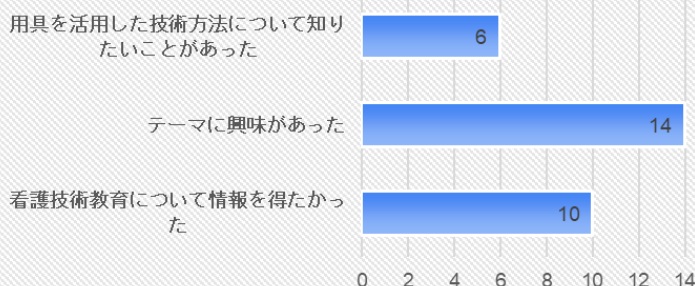
問1 日本看護技術学会の会員ですか



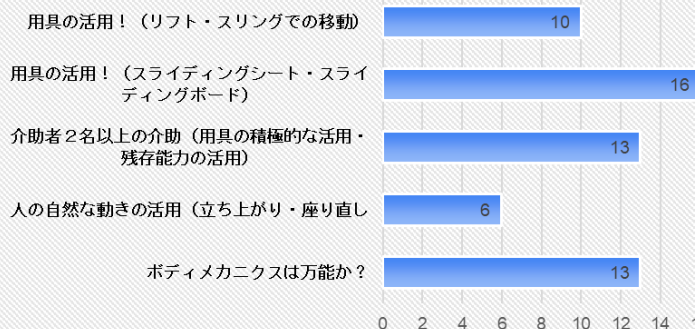
問2 所属の施設をお教えてください



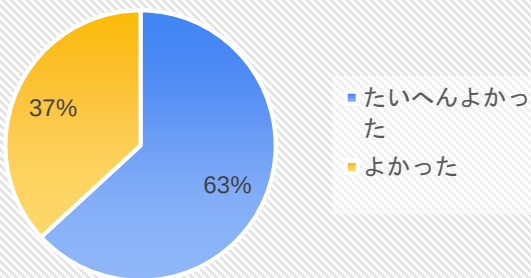
問3 本研修会に参加された目的をお教えてください。
(複数回答可)



問4 関心のあった移動動作を教えてください (複数回答可)



問5 参加満足度を教えてください

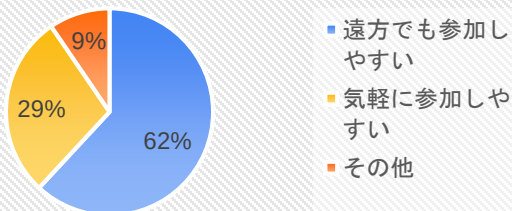


問4-2 問4で選択した項目の理由を教えてください。

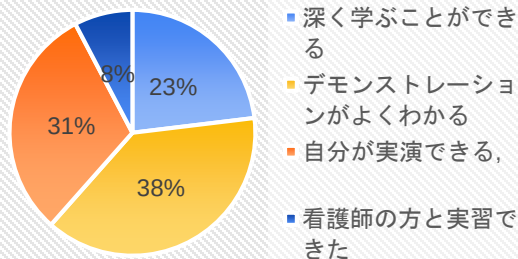
- 学生に伝えるべきポイントを学びたかったので。
- 担当単元であり、最新の知見や教授方法を学びたいと思っていました。
- 病棟で移乗用ボードで患者さんの身体を滑らせずボードごと持ち上げる看護師がいる為、正しい方法を伝えたいと考えているため
- 今の看護に適応するために、用具の活用を教育内容として積極的に取り入れたいと思いました。
- スライディングシートストレッチャーへの移動方法、ベッドから車椅子への移乗の際に看護師の足の使い方にも疑問がありました。
- 移乗・移送の講義と演習を担当しているので、今後の教育方法について情報を得ることができました。
- 自分が担当している授業で活用できる内容なので
- 体位変換や移乗・移送の授業の教授法について検討しているため。
- わかりやすい説明でしたし、演習の方は、オンラインのため参加できませんでしたが、その実際の様子も見せていただけたのが良かったです。
- どのような用具があるか知りたかった
- 移動動作の基本の学び直しと、現在の用具の使用を知りたかったため、
- 全項目において授業で教わったこととは違う手段でも教わることができ、今後の実習や資格取得後に生かそうと思うことができたからです。

アンケート集計結果

問6-1 オンライン参加の方、参加方法を選んだ理由を教えてください (n=14)



問6-2 会場参加の方、参加方法を選んだ理由を教えてください (n=5)



問5-2 問5で選択した理由を教えてください

高い用具を購入しなくても、ビニール袋やプラスチックボードなどを買えば、100人いっせいで授業でも十分に工夫して用具の使い方を教えられることがよくわかりました。

非常に分かりやすく、学生へこのように伝えたら良いのだと具体的な示唆を得ることができました。

声が反響して語尾が聞こえなかった。周りの声が大きいところ説明が聞こえない。シートの輪や向きが見にくく用具を拡大して説明されるとよかった。

授業、演習で取り入れられる内容でした。

平田先生と首藤先生のご講義が非常に参考になりました。

具体的な方法を提示していただき、わかりやすい内容でした。

弾性ストッキングをはく説明のところだけが、ビニールが透明だったためか最初よく見えませんでした。

問7 その他に感想や希望があればご記入ください

オンラインでも演習の様子もたっぷり見せていただけたので、実践的な内容やコツまで知ることができました。ありがとうございました。

幼い子供がおり、オンラインでの開催が本当に有り難かったです。貴重な機会をありがとうございました。

このような機会は非常に貴重です。私は基礎看護学領域の教員であり、日常生活援助の講義・演習を担当しています。今後は他の日常生活援助の指導についても情報共有させていただければ大変有効に感じます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

準備が大変かと思いますが、今後もハイブリッド開催の研修を継続していただければと思います。

リフトの購入は難しいため、演習はできませんが、スライディングシートなどの演習は手軽にできるので、今後も行っていきます。摩擦の原理、素材の説明も取り入れていきたいです。ありがとうございました。

学生に理解してもらうことで、いずれ広まることを期待はしますが、ぜひ臨床NSにも理解してもらいたい内容でした。予算もありますNSの人員減の費用対効果のデータがあれば取り入れやすいと思いました。もし何かあれば教えていただけるとありがたいです。

貴重な体験をさせていただきました。有難うございました。

第16回全国キャラバン研修会では、対面とオンラインのハイブリッド研修会を行いました。会場参加者の方は、用具やリフトを用いた移動技術に熱心に取り組んでいる様子がみられました。一方で、オンライン参加者は、実技はできなくても、チャットで質問してくださり、活気あふれるよい研修会となりました。



会場参加者と講師で記念撮影！